

1 日本の資産運用会社は、米国の資産に投資する際に日本円を米ドルに交換する必要があります。

2 Refinitiv Workspace for FX Trading を利用して市況情報やニュースをモニタリングします。

3 日本の資産運用会社がドルを調達する取引を執行するため FXall を用いて取引可能なレートの提示を複数の銀行にリクエストします。

4 複数の銀行から取引可能なレート提示が行われ、資産運用会社は最良のレートで取引ができます。

5 銀行は、資産運用会社（顧客）からのオーダーを執行すると、FXall から取引の詳細が Settlement Center に直接送信されます。その後、LCH ForexClear を通じて取引を清算することが可能です。取引の詳細は、この取引に関わったすべての関係者と共有することも可能です。

6 銀行は顧客から受取ったオーダーのすべてのポジションをヘッジし、エクスポージャーを減らすために、Refinitiv Electronic Trading を利用してヘッジすべきポジションとレートを自動で計算し、銀行間市場でヘッジ取引を執行します。

7 大きなアmountのヘッジ取引を確実に執行するために、Refinitiv Matching を利用します。このサービスは高頻度取引（HFT）を行うファンドのニーズにも対応できます。取引執行にかかる時間は数ミリ秒です。

8 Refinitiv Data Platform にフィードされる取引関連のデータを受け取ります。

9 ヘッジ取引の内容は、取引プロセス、規制遵守、アーカイブ処理のため、記録保持用ツールで管理する必要があります。

10 取引執行通知は、リスク管理ツールやカウンターパーティーにも自動送信されます。

